

アプリで治療する未来を創造する

私たちは「**治療アプリ**®・」という革新的な治療用ソフトウェア機器を開発・診療現場に導入することで、これまでの医療が生み出せなかった新たな治療効用を創出し、病気の最中にある患者様の「いのち」を支える存在になりたいと考えている。



事業概要

「医療向け(医療機器)事業」を核の事業とし、その知見を活かした「民間法人向け事業」も展開

	医療向け(医療機器)事業	民間法人向け事業
ニコチン依存症	 慶應義塾大学医学部 Division of Pulmonary Medicine, Department of Med. ニコチン依存症治療用アプリ 国内初のアプリ治験を終え薬事申請中	 医師・指導員・アプリがつくる新しい禁煙体験
NASH/NAFLD※	 hd 東大病院 The University of Tokyo Hospital 非アルコール性脂肪肝炎(NASH)治療用アプリ 現在、第Ⅱ相試験(Phase 2)実施中	 生活習慣改善プログラム (特定保健指導対応)
高血圧	 自治医科大学 循環器内科学部門 Cardiovascular medicine, Jichi Medical University 高血圧治療用アプリ 現在、治験準備中	

※ NASH : 非アルコール性脂肪肝炎、NAFLD : 非アルコール性脂肪性肝疾患

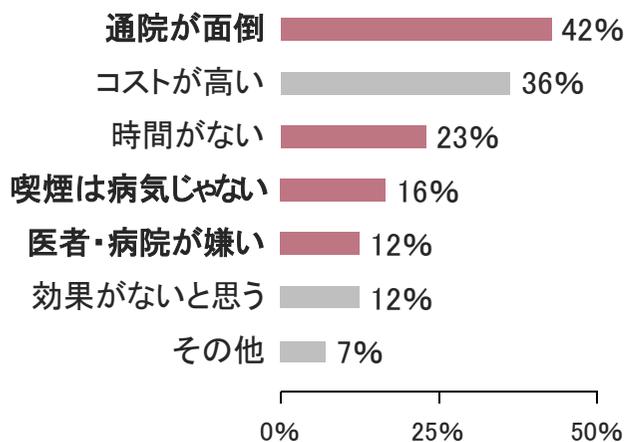
禁煙施策を推進する上での課題

- 組織として禁煙を推進していきたい一方で、構造的な課題があり、なかなか上手く運用できていない団体が多い。

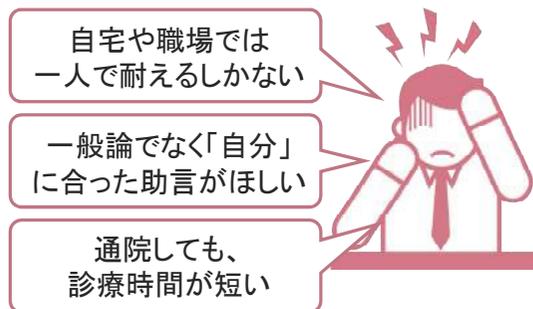
始めづらい



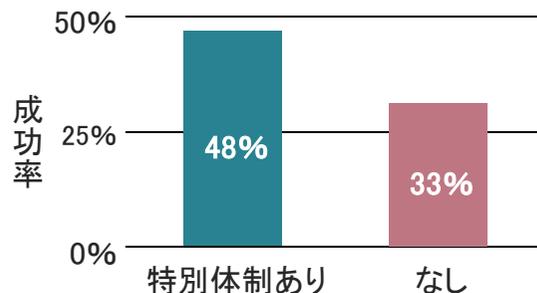
禁煙外来を利用しない心理的理由



支援が不足



禁煙支援の体制による成功率の違い

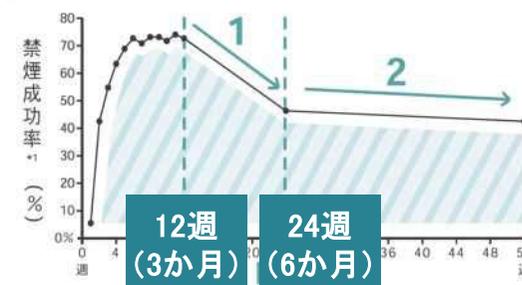


- 特別体制を敷けば成功率は高い
- 特別体制を敷いている医療機関は **全体の2割に過ぎない**

サポート期間が短い



禁煙外来・治療後の禁煙成功率

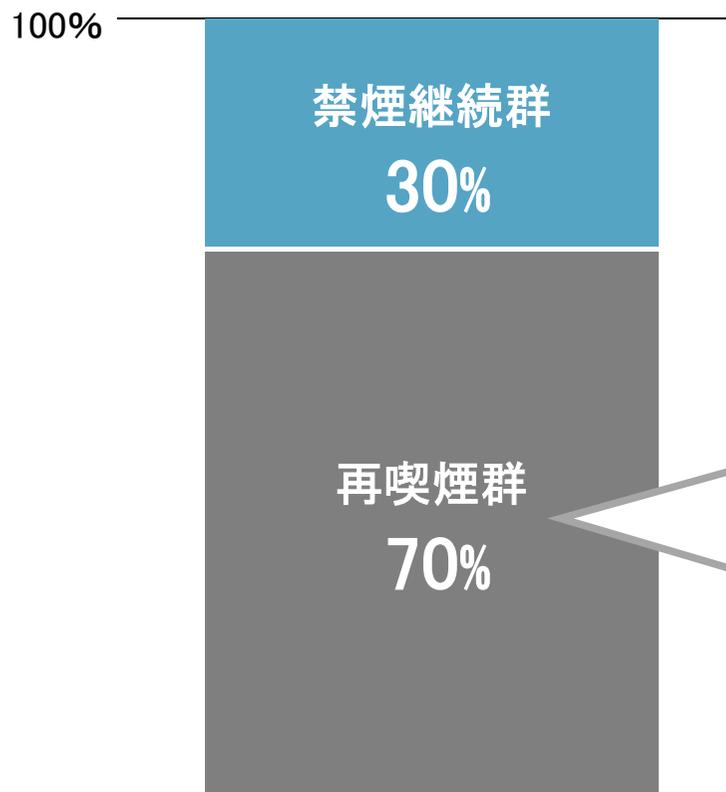


- 禁煙外来は最長3ヶ月
- 治療終了後3か月で多くが再喫煙**
- 6ヶ月継続できると、大半が成功

禁煙にチャレンジした人の再喫煙率

- 医療機関、企業・健保組合様の努力にも関わらず、治療中断・脱落者が多く出てしまっているのが現状

禁煙治療開始 1年後の状況



心理的依存への
フォローが不十分



副作用が強く、自動車運転
などされる方には禁忌

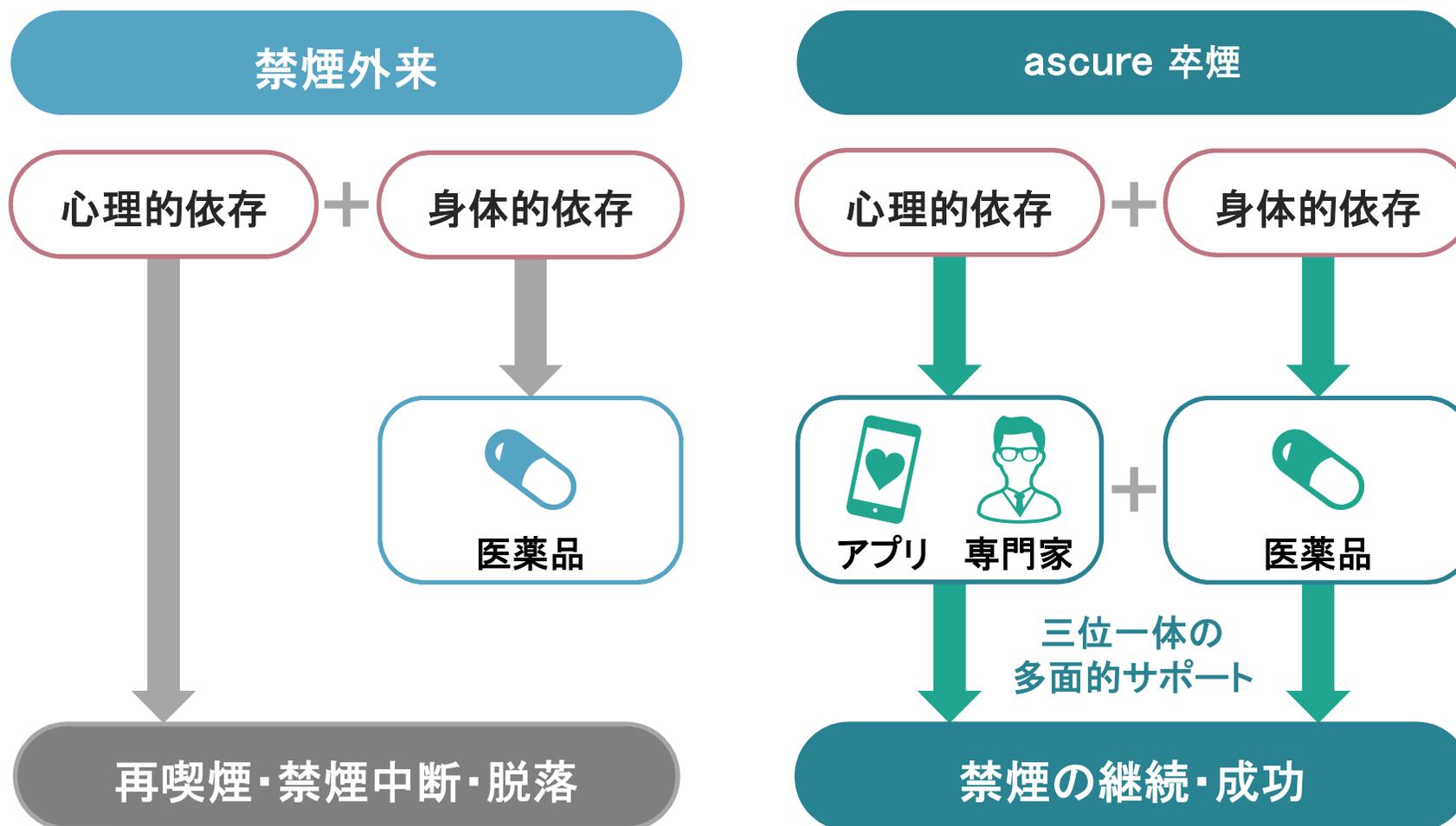


禁煙にトライしても大多数が1年以内に失敗

出典元：日本公衆衛生学会 シンポジウム5
(2010年10月29日、東京)「たばこ規制の現状と今後の課題」保険適用5年目の禁煙治療の現状と今後の課題
(<http://www.osaka-ganjun.jp/effort/cvd/training/lecture/pdf/discourse20101029.pdf>)

弊社プログラムの支援の考え方

- 禁煙を阻む「2つの依存」双方に、多面的に支援を行なっていきます



ascure(アスキュア)卒煙の概要

- 構造的な3つの課題に、テクノロジーと手厚いサポートによる新しい解決策

スマホがあればOK

通院や診察ではなく
遠隔・オンラインでの支援



どこにいても専用の
禁煙支援アプリを使用できる



指導もビデオ通話で受けられる
ので、通院の手間なし
(初回から最後まで)



火曜から土曜の12時~20時まで
専門家のビデオ指導あり
※予約制



通院や診察ではなく
心理的ハードルが低い

「三位一体」の充実した支援

3つの要素で
効果的に禁煙を支援



アプリとコンテンツ

スマートフォンでどこでも支援が受けられる

医薬品

オンライン販売で
ご自宅まで郵送

専属の指導員

専門の教育を受けた
医療資格保持者

1回あたりの指導時間も30~45分と充実

6ヶ月間の長期フォロー

心理的依存の克服に役立つ
毎日のサポート体制で支援

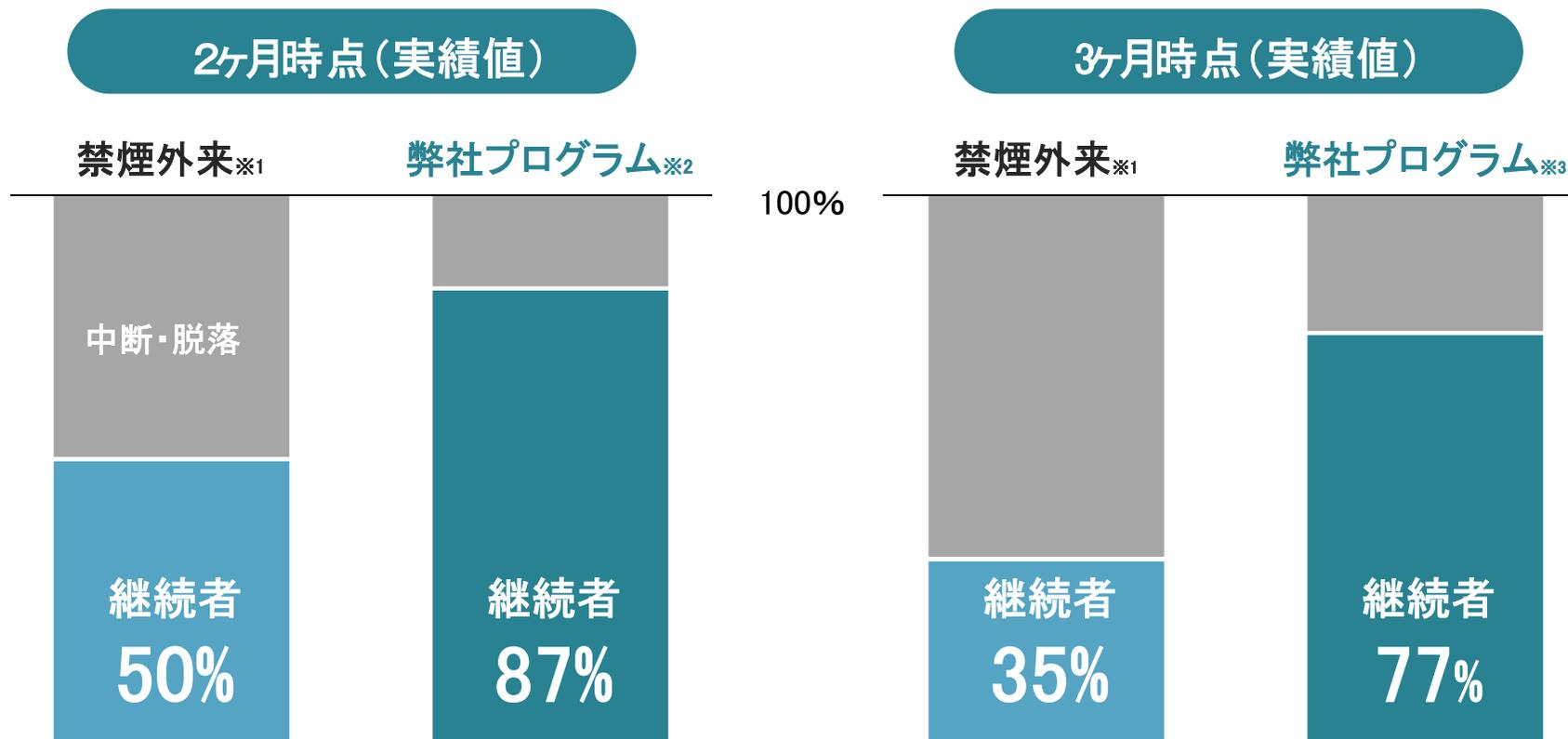


6ヶ月間の長期対応で
心理的依存の克服へ

中断や脱落が多くなる
4~6ヶ月頃もケア

ascure卒煙の継続率

- 従来禁煙プログラム(禁煙外来)と比べても、非常に良好な成績を上げています



※禁煙外来のデータ出典)診療報酬改定結果検証に係る特別調査(平成 21 年度調査) ニコチン依存症管理料算定保険医療機関における 禁煙成功率の実態調査 報告書

※弊社プログラムで示している数値: 正式導入先の数値(2019年1月末時点)

※1 n: 3,471 ※2 n: 約500 ※3 n: 約400

とよなか卒煙プロジェクト

【本プロジェクトの目的】

豊中市在住・在勤の喫煙者、特に子育て世代で自発的禁煙が困難である層に対する禁煙の開始と継続を目的とし、禁煙への動機付けおよび希望者に対する禁煙支援を行う。

契約期間 : 今年度から3カ年

事業費 : 6,100万円

参加条件 : 豊中市在住・在勤

* 在勤者は一部自己負担あり



**とよなか
卒煙
プロジェクト**

豊中市在住・在勤の方対象の
アプリでの禁煙プログラム

豊中市に
在住の方は **0**円
(豊中市に在勤の方は3,000円)

禁煙日を、記念日に。

医師開発アプリ×オンライン面談×医薬品
通院不要で無理なく続けられる卒煙

医師開発アプリ「ascure卒煙」と保健師・薬剤師などによる禁煙指導をビデオ通話にて「完全オンライン」で提供。加えて、禁煙補助剤はご自宅にお届けします。

医師開発
アプリ

オンライン面談
(1回30~40分)

一般用医薬品
(ニコチンパッチなど)

お問い合わせ先
プログラムに関するご相談や各種お問い合わせについては(株)キュア・アップの以下のメールアドレスから
ascure@cureapp.jp

詳しくはWEBサイトにて掲載
プログラム概要や申し込み方法、Q&Aなどは以下のURLもしくはQRコードからご覧頂けます。
<https://lp.ascure.net/toyonaka>

※この事業は、豊中市保健所健康政策課が(株)キュア・アップに委託しています。

「とよなか卒煙プロジェクト」プログラムスケジュール

- 従来の禁煙プログラムでは、3ヶ月間のサポートとなっていますが、弊社プログラムは、より禁煙成功率を高めるため6ヶ月の間、指導員とアプリ、医薬品によって手厚いサポートを行っています。



政府の戦略における成果連動型事業／SIBの位置づけ

経済財政運営

『経済財政運営と改革の基本方針 2019』（令和元年度6月21日閣議決定）

『⑤ 共助社会・共生社会づくり

成果連動型民間委託契約方式の普及促進を図るとともに、地域の社会的課題に民間の立場から取り組む社会的事業の創出環境の整備を進める。』 P.47

『(ii) 自助・共助・公助の役割分担の見直し

成果連動型インセンティブをはじめとする民間資金・ノウハウを引き出す公契約・普及方策の検討・・・（以中略）・・・を推進する。』 P.55

成長戦略

『成長戦略2019』（令和元年度6月21日閣議決定）

『（2）PPP/PFI手法の導入加速

内閣府は、国内での取組が具体化しつつある医療・健康、介護、再犯防止の3分野を成果連動型民間委託契約方式の普及を進める重点分野として、**2022年度までの具体的なアクションプランを本年度中に策定**する。関係府省は、アクションプランに基づき重点3分野で成果連動型民間委託契約方式の普及を促進する。その成果は更に重点3分野以外へ横展開させる。』（成長戦略実行計画 P.28）

『② 成果連動型民間委託契約方式の普及促進

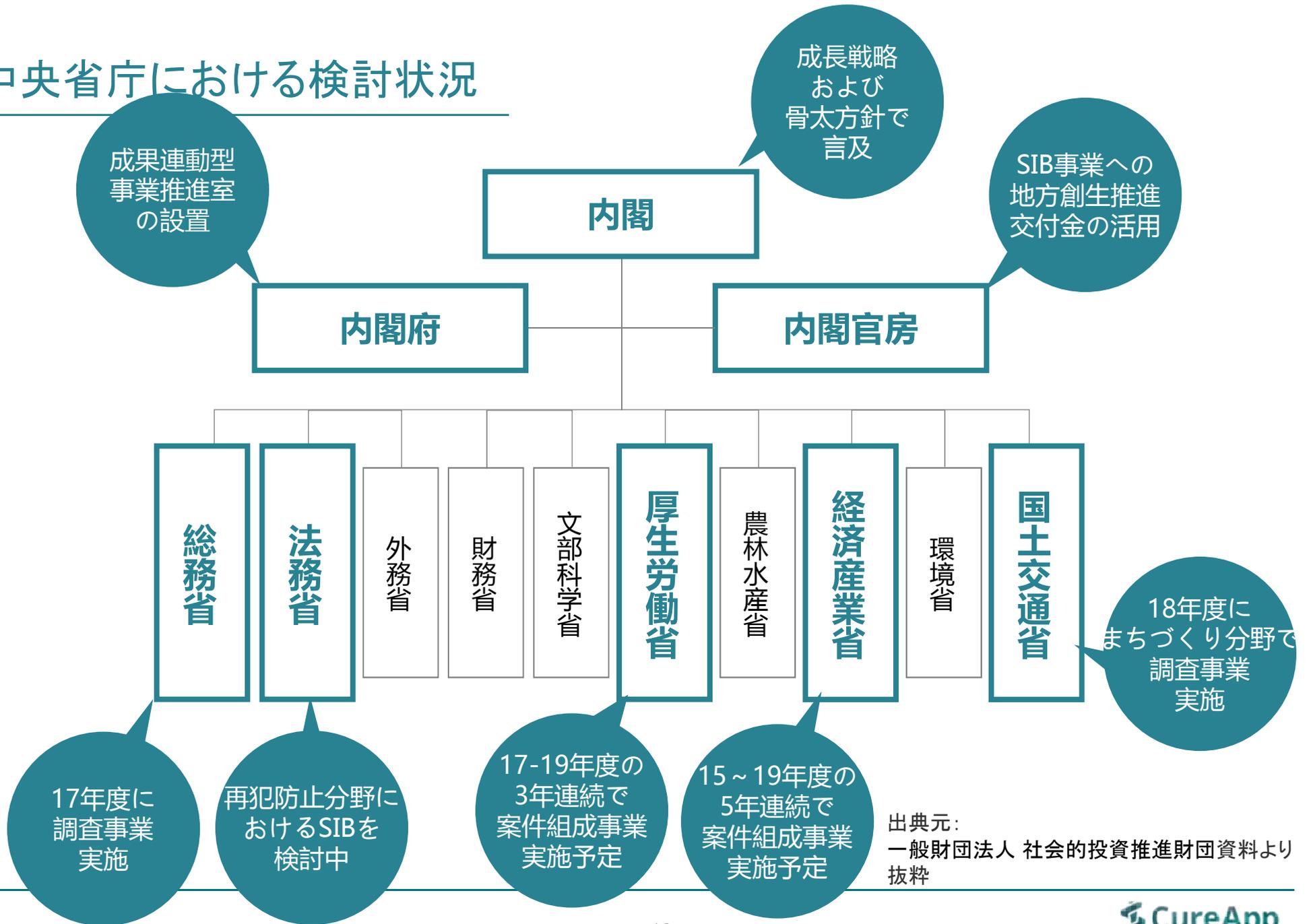
・内閣府は2019年度中に国内外での先進事例を調査・整理し、その成果を基に成果連動型民間委託契約方式を普及・啓発する**ポータルサイト**を構築する。

・内閣府は、成果連動型民間委託契約の補助の仕組みについて、2019年度中に英米の**アウトカムファンド**などの海外事例を調査した上で検討を行う。』等の具体的な施策言及（成長戦略フォローアップ P.45）

参照先：内閣府「経済財政運営と改革の基本方針2018」

出典元：一般財団法人 社会的投資推進財団資料より抜粋

中央省庁における検討状況



出典元：
一般財団法人 社会的投資推進財団資料より
抜粋

アウトカムを出せる事業開発

1. アウトカムを出し続ける

2. 新規事業の開発



医師開発のアプリ

×

アプリ連動のIoT体重計

×

完全オンライン指導

